

全国藩校サミット行田大会

小学生素読発表のリハーサルを実施します

7月5日(土)・6日(日)に開催される全国藩校サミット行田大会で、小学生による素読発表を予定しています。このたび、小学生の素読教室を公開しますので、ぜひご覧ください。

▶日時 5月18日(日)午前9時30分～11時30分
▶場所 産業文化会館ホール

▶内容 埼玉小学校の児童と忍藩子ども塾の塾生が全国藩校サミット行田大会に向けて素読発表のリハーサルを行います。
▶入場料 無料
▶主催 第12回全国藩校サミット行田大会実行委員会、(公財)忍郷友会



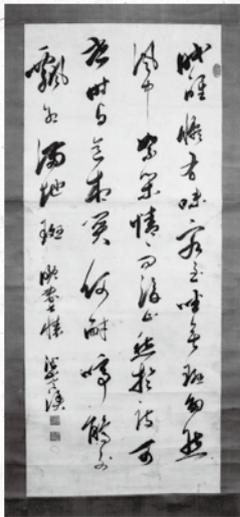
芳川波山と忍藩校進脩館の設立

① 芳川波山の登用

文政6年(1823)3月、桑名藩主松平忠亮は武蔵国忍へ転封を命じられ、これにより桑名藩校進脩館の歴史は幕を閉じました。忍へ転封となった忠亮はここでも藩校の設置を目指しましたが、転封による莫大な費用が藩の財政を圧迫したため、設置はなかなか進みませんでした。

また、教官を勤めた奥平玄甫がその任を解かれたため、新たに教官を探す必要がありました。藩主忠亮は転封の翌年(1824)、当時名声の高かった近藤栄軒を藩儒として招きました。翌年に急逝しました。そこで幕府の儒官林述斎に相談したところ、推薦を得て家来としたのが芳川波山です。

波山は、常陸国潮来(茨城県潮来市)の出身で、江戸や長崎で学んだ後、一時期伊豆国下田で塾を開いていました。江戸に戻った後、文政9年(1826)に昌平坂学問所に入門したところ、林述斎の目にとまり、松平忠亮から百石を与えられ忍藩儒となったのです。



芳川波山書

② 忍藩校進脩館の設立

波山が藩儒となってからも藩校の設立はなかなか進まず、波山は忍城内や自宅で藩士に学問を教えていました。天保7年(1836)、ようやく忍城内に進脩館の建物建設され、藩校が設立しました。前の忍藩主阿部家の時代には藩校がなかったため、進脩館が忍藩で設立された最初の藩校となりました。これは、阿部家の家臣の半数が江戸詰めで、国元よりは江戸で学ぶ藩士が多かったため、藩校の成立に至らなかったためと考えられています。

進脩館の組織は、波山をはじめとする儒者が2〜3人の他、これを補佐する代講者や長取、助読などの役職がありました。授業内容は儒学と軍学ですが、儒学は内容を暗誦する素読から始まり、勉強が進むと初学者への指導も担当するようになります。さらに進むと会読や輪読といって当日抽選により講義分担を決め、各自順番に演述し、質疑応答をした後に儒者や長取が出来具合を判定しました。軍学では3〜4尺の砂を入れた箱を囲み、山川を区画したり城郭を模写したりして、攻防戦の形勢を学びました。授業開始は午前8時から始まり、正午には終了したようです。休日は年末年始の他、毎月1・15・28日、五節句などでした。

この進脩館で勉強した藩士が、幕末から明治初期の忍藩を支えていきました。

ノルディックウォークを 楽しむ「ほんのりむら旅ツアー」

全身に高い運動効果をもたらすノルディックウォークは、誰でも気軽に楽しむことができる、ポールを使った歩行運動です。新緑に囲まれた上野村で、一味違ったウォーキングを楽しみませんか。



- ▶期 日 5月9日(金)・15日(木)・21日(水)※バスにて日帰り
- ▶対 象 市内在住の方
- ▶定 員 各日20人(先着順)
- ▶参加費 4,000円(ガイド・昼食・温泉入湯料、傷害保険料を含む)
- ▶申し込み 3日間の内、いずれか1日を選択の上、4月18日(金)までに電話で保健センター健康づくり支援担当
- ▶問い合わせ 同センター健康づくり支援担当(市役所内・内線378)

5年目突入！行田軽トラ朝市

毎月第3日曜日午前8時～10時の開催でおなじみとなった「行田軽トラ朝市」。同朝市は平成22年度から開始し、今年で5年目を迎えました。行田の農産物の魅力を発信するため、今年も定期開催を行い、「安心・安全・新鮮」な行田の農産物とそれらを使った加工品などを皆さんにお届けします。おいしい行田の農産物と、元気で明るい生産者に出会える行田軽トラ朝市に足を運んでみてはいかがでしょうか。



- ▶開催日 毎月第3日曜日※次回の開催は4月20日
- ▶開催時間
【3月～11月】午前8時～10時
【12月～2月】午前9時～11時(冬時間)
※販売状況などにより終了が早まる場合があります。
※雨天時も開催しますが、強雨・強風などの場合は中止となることがあります。
- ▶開催場所 産業文化会館南側芝生広場
- ▶問い合わせ 行田軽トラ朝市実行委員会事務局(農政課内・内線386)

みずしろフェスタ2014 参加団体スタッフアイデアを募集します

市民の趣味や団体の日ごろの活動の成果をコミュニケーションセンターみずしろから発信してみませんか。一緒に盛り上げていただけるスタッフの他、楽しい企画アイデアも同時に募集します。

▼日時 7月19日(土)～21日(月)午前11時～午後6時(展示などは午前9時～午後9時30分)

▼場所 コミュニティセンターみずしろ
▼募集 活動紹介、活動発表、体験講座、展示ブース、ステージ、活動紹介コーナー、フリーマーケット、飲食など

▼主催 みずしろフェスタ実行委員会

▼申し込み 地域づくり支援課、コミュニティセンターみずしろ、各公民館で配布している参加申込書(市ホームページからダウンロード可)に必要事項を記入の上、5月30日(金)(必着)までに、持参、郵送、FAX、Eメールのいずれかの方法で提出してください。※企画アイデアは、みずしろフェスタ実行委員会事務局に持参してください(様式自由)。【持参・郵送】〒361-8601 行田市本丸2-5 みずしろフェスタ実行委員会事務局(行田市地域づくり支援課内)【FAX】556-3083【Eメール】chikizukurin@city.gyoda.lg.jp

行田観光ボランティア会 を募集します

行田市は、豊かな自然と歴史が息づくまちで、歴史散策や自然散策を楽しむ観光客が増えています。

行田観光ボランティア会では、多くの皆さんに行田の魅力を紹介する「観光ボランティア会員」を募集しています。なお、入会した方には、勉強会を予定していますので、興味のある方は気軽に問い合わせください。

会員となって、一緒に本市の観光を盛り上げてみませんか。



観光客に行田の魅力を伝える観光ボランティア

▼申し込み・問い合わせ 観光案内所(同会受付) ☎550-1611または行田市観光協会(商工観光課内・内線382)